

【科研費応募支援ニュースレターNo.42】 発信日_251127（木）

タイトル_科研費応募支援ニュースレターNo.42_大阪電気通信大学との SD 研修

教育職員 各位

URA 高木敦子

いつもお世話になっております。URA の高木敦子です。

今回のニュースレターでは、9月24日（水）に実施した「研究マネジメント人材養成に係る SD 研修」（大阪電気通信大学 研究支援室・地域連携・リカレント推進室とのオンラインミーティング）についてご報告いたします。

本研修は、大阪電気通信大学からのご提案を受け、研究支援体制に関する情報交換の場として、両大学の共催により実施したものです。

大阪電気通信大学は、工学・情報通信・建築デザイン・健康情報・総合情報の各学部を有する理系大学（常勤教員 166 名）です。

また、本学も参加している「科研費事務担当者情報交換会（関西 12 大学）」の参加校でもあり、そこでのご縁から今回の研修の実施につながりました。

■ 研修の概要

当日は、大阪電気通信大学から学事部長、室長、産学官連携コーディネーター（同大学では科研費申請支援等の URA 的業務も兼務）、主査など計 5 名、本学からセンター部長兼事務長、事務長補佐、産学官連携コーディネーター、URA の 4 名が参加しました。

事前に互いの大学の「研究支援の取り組み」や「年間スケジュール」等を共有し、質問事項も交換した上で開催されたことから、1 時間程度の研修ながら内容の濃い意見交換が行われました。

以下では、科研費申請支援に関する事項を中心に、本学の今後の検討材料となり得る点についてご紹介します。

1. 学内教員による申請書レビューの運用

大阪電気通信大学では、コーディネーターおよび外部機関（ロバスト社等）によるレビューに加え、科研費審査経験を有する学内教員による申請書レビューも実施しているとの説明がありました。

本学でも過去に学内教員によるレビューの導入を検討したことがありますが、教員の負担増が懸念され、現状では実施していません。こうした学内教員による申請書レビューの導入可能性について、先生方のご意見やお考えをお寄せいただければ幸いです。

2. コーディネーターによる「伴走支援」

大阪電気通信大学では、申請書作成にあたり、レビューにとどまらず、申請書作成前の計画作成段階から教員とコーディネーターが相談しながら進める「伴走支援」が行われています。今年度は11名を対象に実施したとのことでした。

本学でも、希望される教員がいらっしゃる場合には、同大学の具体的な運用方法などの情報を収集しつつ、導入可能性を検討したいと考えています。ご希望がございましたら、ご一報ください。

3. 申請書レビューの時期について

大阪電気通信大学では、申請書レビューについて計画的なスケジュールが組まれており、例えば、11月第1週に科研費申請を行わなかった教員へのヒアリングを実施し、その後、次年度申請を検討する教員の過去申請書レビューを翌年2月第3週まで行うなど、年間の流れが明確に設定されています。

本学では、申請書レビューは依頼ベースでURAが実施していますが、同大学の計画的なスケジュールに基づく運用は、本学の今後の支援体制を検討するうえで参考となる点が多いと感じました。

4. 公募情報提供の方法

文部科学省科研費以外の公的機関や財団等による研究助成公募について、大阪電気通信大学ではホームページ掲載に加え、該当する可能性のある教員に個別連絡を行っているとの説明がありました。

本学では今後も個別連絡までは行わない予定ですが、ウェブ掲載・ポスター掲示に加えて、公募内容を簡潔にまとめたメールでの情報提供を併用することで、より適切な情報提供につながるのではないかと考えています。

今回の研修を踏まえ、本学における科研費申請支援のさらなる充実に努めてまいります。

今後も科研費申請や研究活動に関する情報を共有してまいります。

ご不明点、ご意見・ご要望等がございましたら、URA までお気軽にお知らせください。

【本学 Web サイト：研究・社会連携»科学研究費助成事業】

https://www.osaka-sandai.ac.jp/research/grantinaid_scientific_research.html

ID : kenkyu パスワード : sanken3001